

令和7年度群馬県歯科医療安全研修会 (自由研修課程)

日 時

令和8年2月15日(日)

10:00~14:00 (受付9:30~)

受講
無料

会 場

群馬県生涯学習センター 3F 視聴覚室
前橋市文京町 2-20-22

第一部

歯科医療安全の
基本と実践
～感染対策を中心
として～



群馬県立小児医療センター
歯科・障害児歯科部長 **木下 樹先生**
(歯科医師)

第二部

デジタル化による
効率化とIOSの
考え方



有限会社 PASHAデンタルラボラトリー
代表取締役 **枝川 智之先生**
(歯科技工士)

【申込み方法】QRコードまたはFAX

<https://forms.gle/MjnreKdW1MzwqVFj6>



【申込締切】令和8年2月10日

** FAXからのお申し込みはこちらです **

参加申込書

群馬県歯科技工士会 FAX 027-254-4327

お名前(ふりがな)

会員 (会員番号 :) 会員外

歯科技工士 歯科医師 歯科衛生士 その他 ()

【勤務先名】

【ご連絡先】電話番号 () FAX番号 ()

mail @

【ご住所】〒 -

木下樹先生抄録 歯科診療における医療安全管理は、患者様および医療従事者の安全を守る上で不可欠です。特に感染対策は、院内感染の発生を防ぎ、安心して治療を受けていただける環境を維持するための根幹となります。本講習会では、最新の知見に基づいた歯科診療所における標準予防策の徹底と、具体的な感染防止対策の実践方法について解説します。

枝川智之先生抄録 デジタル技術はあらゆる分野で発展し、歯科界においてもコロナウイルスの拡大をきっかけに感染予防の観点から口腔内スキャナーの導入が進み、現在では手頃な価格で精度の高いデバイスが販売され、デジタルの普及が進んだことで、歯科医師、歯科技工士間の円滑なコミュニケーションが可能となりました。また、デジタルの恩恵は患者に対しても、視覚的に分かりやすく説明ができるなど歯科医療は大きな変革期を迎えています。

口腔内スキャナーによる情報のデータ化は、従来の煩雑なやり取りや製作工程を大きく変え、デジタルによる時間の短縮や生産性の向上または、作業環境の改善など多くの利点がある一方、模型に合わせるという従来の基準がないため、思考を変えてIOSデーターに対して想像を巡らせ対応する必要があります。

最近ではDX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉が頻繁に使われますが、問題に対しての考え方や人との連携を活用しなければ、本当の意味でのデジタルを用いた変革や効率化の実現は難しいのではないでしょうか。今回の講演では、IOSの活用やモノリシックジルコニアステイン法などを通じて作業の効率化を実現する考え方などをお話させて頂きたいと思います。

歯科医療安全研修会は歯科医療関係団体（歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士）と群馬県が連携し、歯科医業を行なう医療機関等に置ける医療安全の確保を効率的に推進し、安全で質の高い歯科医療提供体制を整備するための研修会。

※お昼休憩はありません

※日技会員は生涯研修当日「歯科技工士生涯研修カード」の持参お願いします

お問い合わせ先

公益社団法人群馬県歯科技工士会事務所

前橋市江田町593-1 2-D

mail : gun-gi@bay.wind.ne.jp TEL : 027-254-4341

